

2020年10月9日

報道関係者各位

慶應義塾大学病院
メディカルデータカード株式会社

慶應義塾大学病院産科、妊娠中と産後の助産師面談を MeDaCa アプリを活用した遠隔診療で開始

慶應義塾大学病院（病院長：北川 雄光）では、慶應義塾大学病院産科外来において、本年6月より全妊婦の方を対象に妊婦検診の一部診察を、MeDaCa アプリを使った遠隔診療で行っています。このたび、本年8月より、メディカルデータカード株式会社（代表取締役社長：西村 邦裕、以下「メディカルデータカード社」と共同で、妊娠初期・産後2週間の助産師面談も、アプリを活用した遠隔助産師面談に切り替え、開始しました。

本取り組みでは、妊娠中・産褥期（出産直後）の患者さんの同意のもと、MeDaCa アプリを活用し、面談前に質問票のデータやりとりをオンラインで行い、助産師はオンラインで得られた質問票を見ながら、ビデオ通話機能を使って遠隔で面談を行っています。今後は、慶應義塾大学病院産科外来を受診中の妊娠中の方、及び慶應義塾大学病院産科で出産された方全員が、本遠隔助産師面談の対象となります。

慶應義塾大学病院は、2018年に Society 5.0 を実現する内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の「AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム」事業の公募に採択され、病院のIT化・AI化を推進しています。本取り組みは、このAIホスピタルプロジェクトの支援によって行われています。

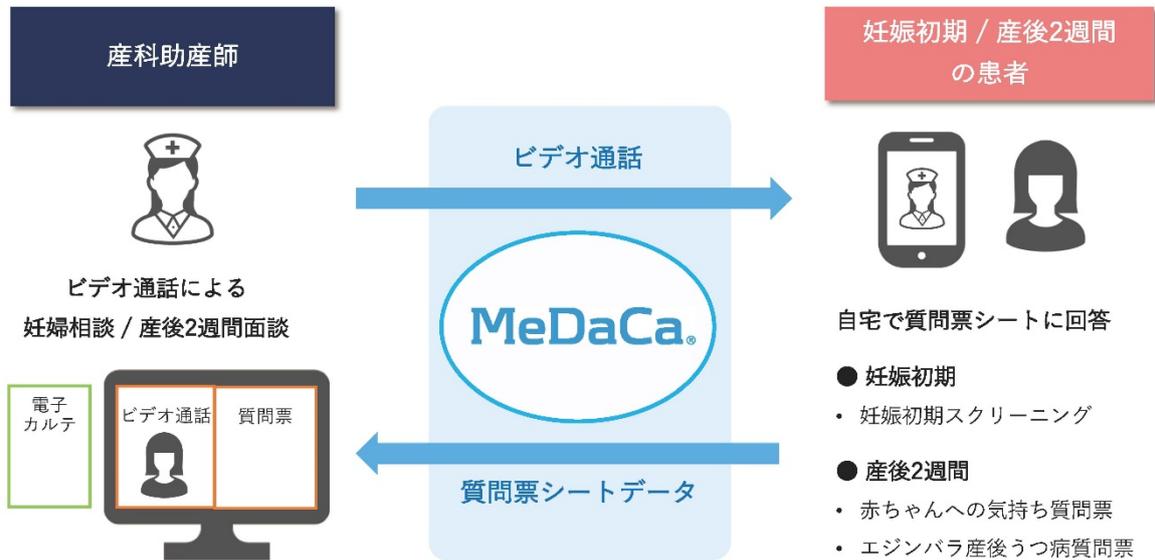
1. 導入の目的と効果

慶應義塾大学病院産科では、妊娠中の方が安心して出産を迎え、出産後に落ち着いて子育てに取り組んでいただくためのきめ細やかな助産ケアを提供するために、遠隔診療を行うのが望ましいと考え、助産師外来にも MeDaCa アプリを活用したビデオ通話による遠隔面談を導入しました。

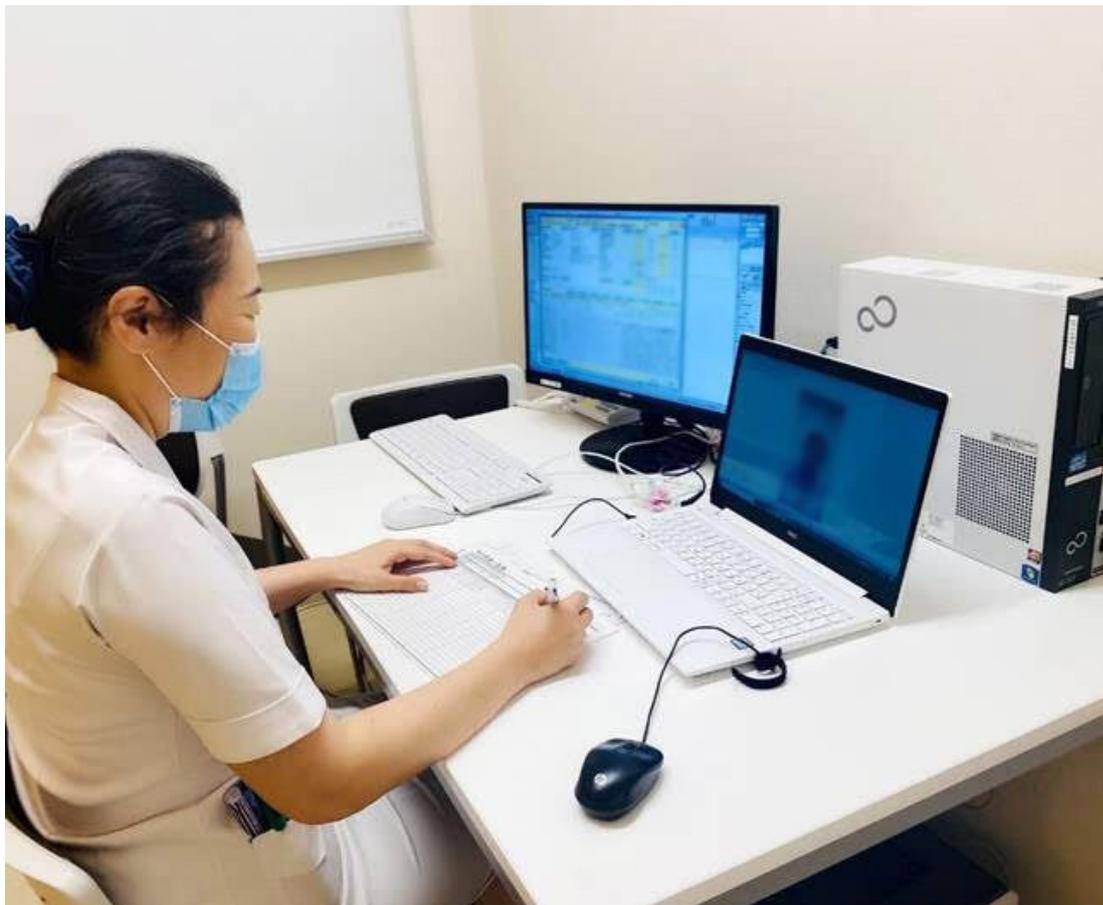
本取り組みにより、通院による身体的・精神的負担を軽減することができ、また妊娠中、出産直後のお母さんや新生児など感染症にかかりやすい方々への、新型コロナウイルス等の感染症予防対策としてもこの取り組みは有効であると考えています。この遠隔助産師面談システムでは、自宅でプライバシーの心配をすることなく、個別に相談・指導ができるようになったため、これまで以上にきめ細やかな助産指導ができるようになりました。また対面の指導では、感染対策上、配偶者の方やお子様が同席しての助産師面談は困難でしたが、オンラインで行うことでご夫婦やお子様同席での助産師指導が可能になり、対面では得られな

いメリットも実現できるようになりました。

慶應義塾大学病院とメディカルデータカード社は、今後も共同で AI・IoT 技術等を用いて、医師がより正確な診断を行うための支援や、医師と患者のコミュニケーションサポートなど、人々が健康的でより良い医療サービスを楽しむことができるようなサービスの開発に努めていきます。



【図 1】 遠隔助産師面談のシステム構成



【図 2】 遠隔助産師面談の様子

2. 特記事項

本取り組みは、慶應義塾大学病院が受託している戦略的イノベーション創造プログラム「AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム」研究開発事業の支援によって行われています。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、厚生労働記者会、厚生日比谷クラブ、各社科学部等に送信しております。

【本発表資料のお問い合わせ先】

慶應義塾大学医学部 産婦人科学教室（産科）教授 田中 守（たなか まもる）

TEL : 03-5363-3819 FAX : 03-3226-1667 <http://www.obgy.med.keio.ac.jp/index.php>

メディカルデータカード株式会社

TEL : 03-3226-0303 FAX : 03-3226-0303

E-mail : press@medaca.co.jp <https://www.medaca.co.jp/>

【本リリースの発信元】

慶應義塾大学信濃町キャンパス総務課：飯塚・山崎

TEL : 03-5363-3611 FAX : 03-5363-3612

E-mail : med-koho@adst.keio.ac.jp <http://www.med.keio.ac.jp/>

※本リリースのカラー版をご希望の方は上記【本リリースの発信元】までご連絡ください。